

うさぎとかめ通信

上越市立高田幼稚園

(週刊：園長室だより) 106周年

令和5年1月26日

第171号

HPのQRコード→



「思い→体験→表現」は、幼児・児童・生徒に一貫する、遊び・学びの基本！

子どもの姿から

【スノボのコースを新設しました】→

17日(火)に、避難訓練を行いました。

17日の園庭の積雪は0cmでしたが、まだ積雪が見込まれる2月と3月がありますから、降雪・積雪期も意識して避難訓練に取り組みました。まつ組とうめ組は非常階段を利用して、速やかに避難できました。さすが、まもなく小学校に進学するまつ組と、もうじき年長さんになるうめ組の子どもたちです。もも組もすばやく防寒具を着込み、音もなく避難できました。さすが、何事も全力で取り組むもも組の子どもたちです。見事でした！



園庭・園舎から

【羽根つきトレーニングコーナー】→

19日(木)に、かめさんくらぶを開きました。

上越市立八千浦小学校の渡邊教頭様と上越市立美守小学校の黒田教頭様が来園されました。子どもたちの活動をあたたかくていねいに参観され、活動の様子をメモにとられたり、担任の日々の活動の記録を読まれたりしていました。小学校の皆様に公開することで、小学1年生の入学が円滑となり、幼児の遊び・学びに基づいた授業がつくられ、そして幼児教育の質の向上につながればうれしいです。



キーワード

【うめ組の手作りスイーツなど多数】→

〇令和の日本型学校教育における子どもの学びの姿

「令和の日本型学校教育」で求められることは、全ての子どもの可能性を引き出す「個別最適な学び」と「協働的な学び」の実現です。「個別最適な学び」では、一人一人の特性・学習進度・学習到達度等に応じ、必要に応じた重点的な指導や指導方法・教材等の工夫を行います。また、一人一人の興味・関心・キャリア形成の方向等に応じ、一人一人に応じた学習活動や課題に取り組む機会を提供します。「協働的な学び」においては、一人一人のよい点や可能性を生かし、子ども同士、あるいは地域の方など多様な人と協働します。幼児教育では、次の学びの姿を目指します。



- ・小学校との円滑な接続や、質の評価を通じたPDCAサイクルの構築などによって、質の高い幼児教育が提供されている。
- ・全ての幼児が、身近な環境に主体的に関わり様々な活動を楽しむ中で達成感を味わいながら、健やかに育つことができる。

※PDCAサイクル：Plan-Do-Check-Action(計画ー実行ー評価ー改善)を繰り返す、業務管理における継続的な改善方法。

(参考：今後の教育課程、学習指導及び学習評価等の在り方に関する有識者検討会第1回資料：文部科学省「新しい学習指導要領 生きる力 学びの、その先へ」令和4年12月)